

国連防災世界会議の開催について

(World Conference on Disaster Reduction)

1．国連防災世界会議の開催

国連では、1990年代を「国際防災の10年」と定め、94年には、世界的な防災戦略である「横浜戦略」を策定した。21世紀に入り、国連は新しい防災指針を定めるべく、この「横浜戦略」の見直しを進めており、その総括の場として、2003年12月の国連総会において、我が国からの提案のもと、「国連防災世界会議」に関する決議案が全会一致で採択。これにより、阪神・淡路大震災から10年となる2005年1月の機会をとらえ、次のとおり、我が国において国連防災世界会議が開催される予定。

(1) 日程：平成17年1月18日(火)～22日(土)

(2) 開催地：兵庫県神戸市

(3) 参加団体：国連加盟国(191カ国)、国連機関(ISDR, OCHA, UNDP, WMO, UNESCO, UNEP等)、国際・地域機関(国際赤十字・赤新月社連盟、アジア防災センター)、NGO(日本地震工学会等)

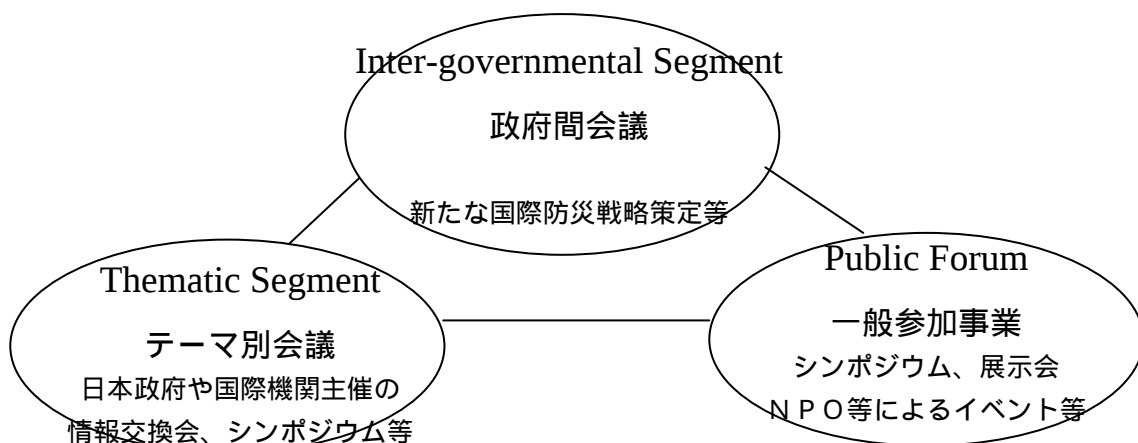
(4) 会議目的：全世界の災害による被害の軽減を目指す21世紀の新しい防災指針を策定するため、以下の項目を中心に検討。

宣言 2005～2015年に自然災害への脆弱性を減少させる取組を加速させるモーメントを高める宣言

実施計画(オブジェクティブ&ターゲット) 政治宣言の戦略ビジョンを実現するための政策手段

具体的なパートナーシップメカニズムの創設

(5) 会議の構成：



2．本邦開催の意義

- 国際防災協力への貢献
- 阪神・淡路大震災等から得た教訓の国内外への発信
- 日本の高度・先進的な防災体制の世界へのアピール

国連防災世界会議の特徴

(2005年1月18-22日, 兵庫県神戸市)

特徴1 国連総会で決議された国連主催の会議です。

2003年12月23日(現地時間)第58回国連総会において、我が国のイニシアティブのもと、141カ国より共同提案された「国連防災世界会議」に関する決議案が全会一致で採択されました。今回の会議はこの国連総会決議に基づいて行われる「国連主催」の会議です。

特徴2 国連全加盟国(191カ国)、国際機関、NGO等が参加します。

特定の国や機関個別に開催している国際会議とは異なり、国連が主催することから国連の全ての加盟国、国際機関、NGO等が参加することになります。

特徴3 今後の世界の防災戦略を策定します。

「横浜戦略とその行動計画」(1994年国連防災世界会議)の見直しの結果を踏まえ、21世紀の新しい国際防災戦略を策定します。この戦略に従って各国が防災活動に取り組むことによって、全世界の自然災害による被害の軽減を目指します。

通常ニューヨークやジュネーブにおいて開催される国連の会議の日本への引っ越し

特徴4 ホスト国日本の防災ノウハウを世界に紹介します。

防災分野での我が国の高度・先進的な取組みを国際社会に紹介することにより、危機管理や災害対策についての我が国の信頼を高めるとともに、世界の防災活動に貢献します。

特徴5 阪神・淡路大震災10年目の教訓と経験を国内外に発信します。

甚大な被害をもたらした阪神・淡路大震災を通じて日本が学んだ教訓を、国内外に発信し、今後の防災活動に活かしていきます。

参考：同じような国連主催の会議は？

- 国連環境開発会議(地球サミット)(1992年, リオデジャネイロ)
- 持続可能な開発に関する世界首脳会議(WSSD)(2002年, ヨハネスブルク)
- 世界食糧サミット(1996年, ローマ)
- 第2回高齢者問題世界会議(2002年, マドリッド)

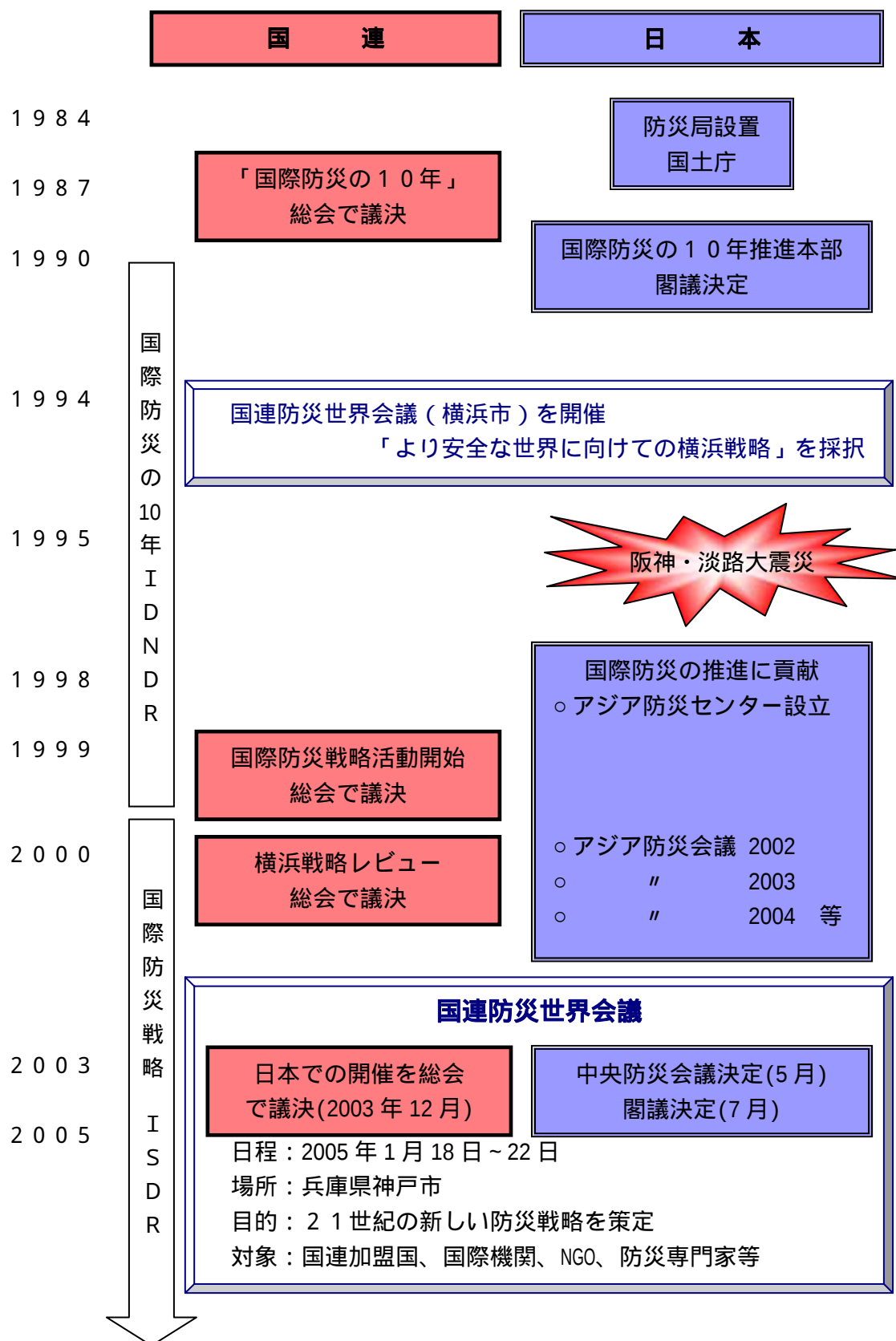
(日本での開催例)

- 国連防災世界会議(1994年, 横浜)
- 気候変動枠組条約締約国会議(COP3)(1997年, 京都)

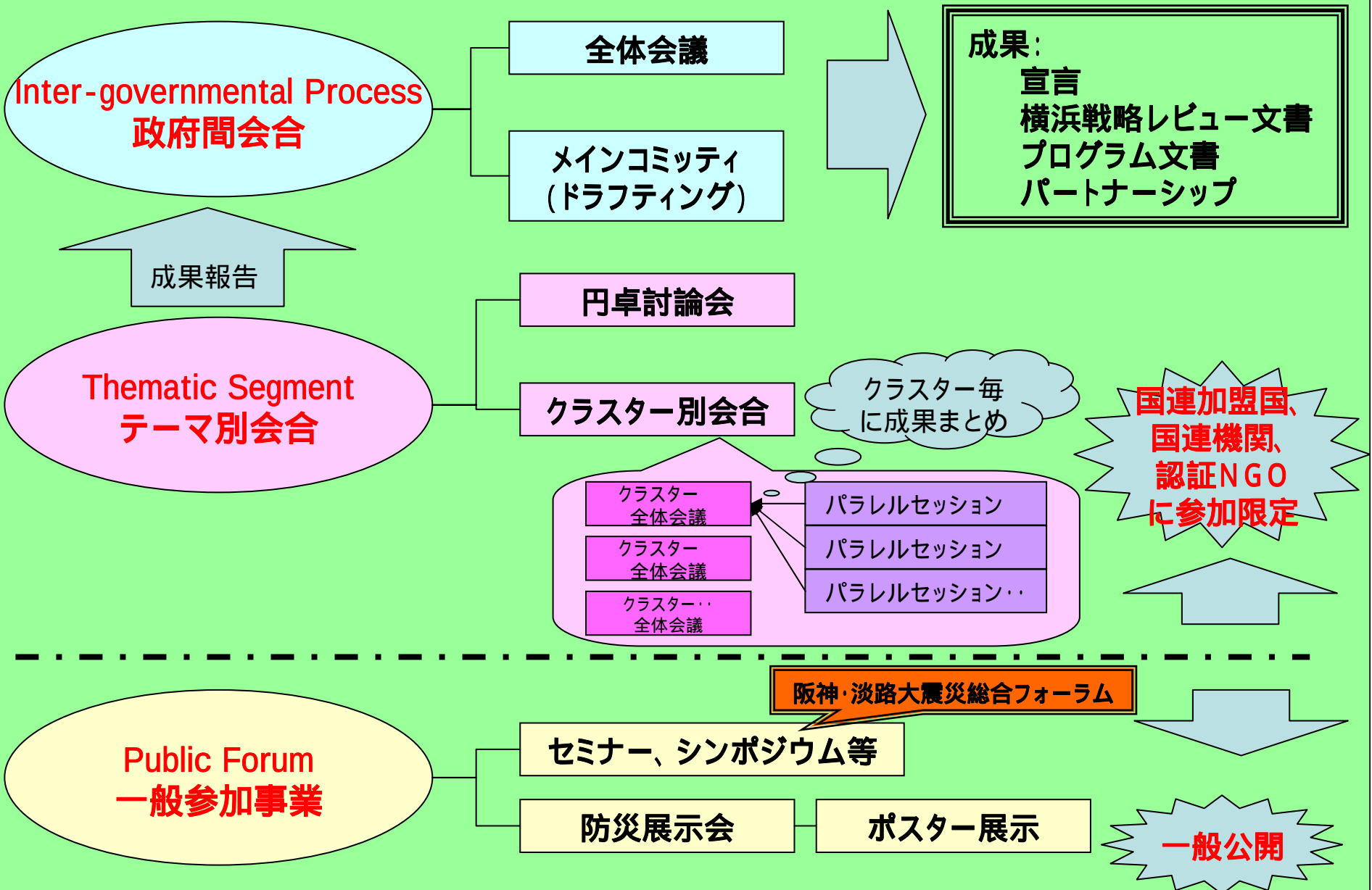
国連防災世界会議

平成16年9月
内閣府防災担当

議論の流れ（詳細：別紙）

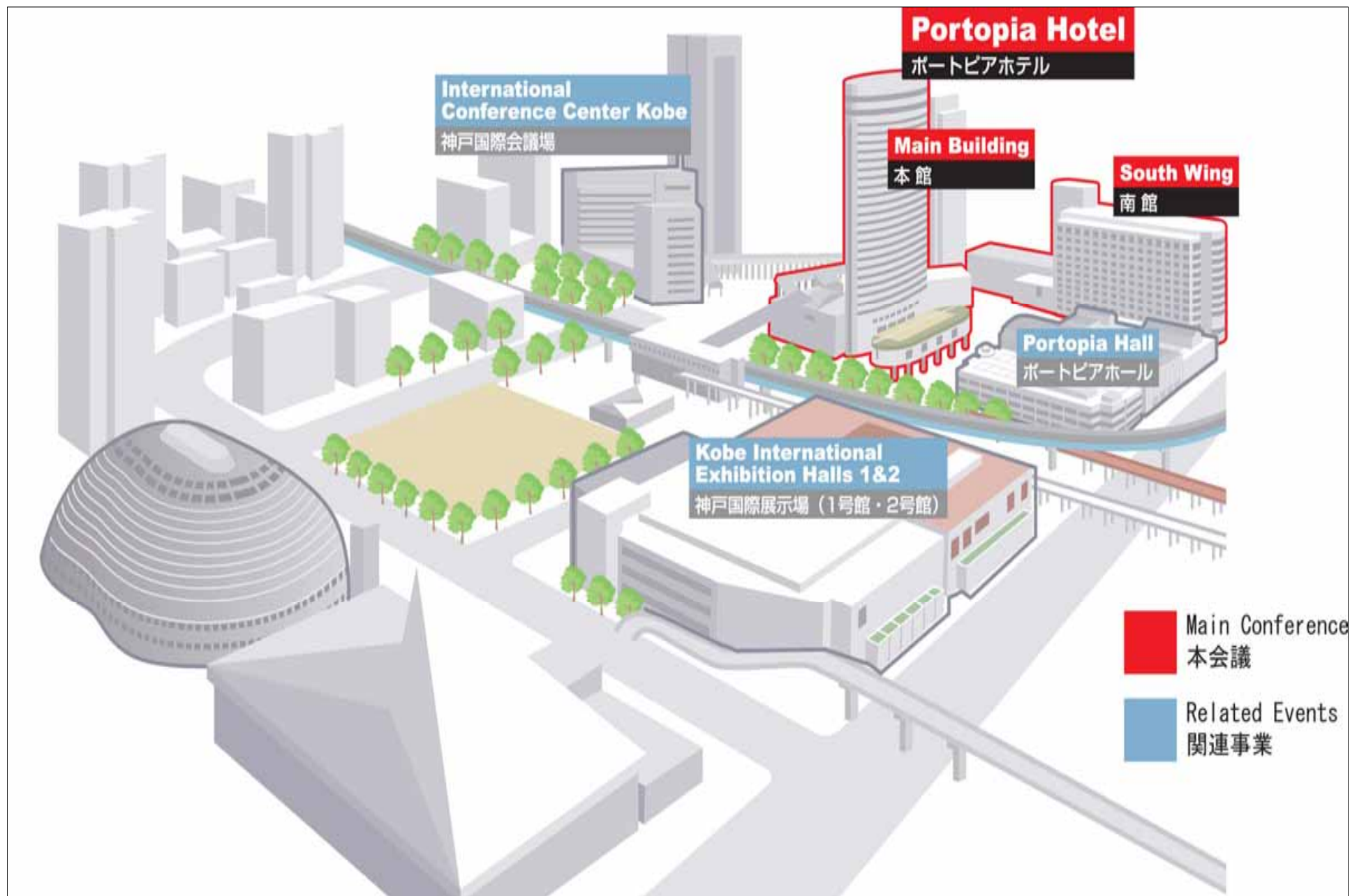


国連防災世界会議 World Conference on Disaster Reduction



会議構成要素の比較

	Inter-governmental Process (政府間会合)	Thematic Segment (テーマ別会合)	Public Forum (一般参加事業)
会議構成	○ 全体会議 ○ メインコミッティ(ドラフティングコミッティ)	○ 円卓討論会 ○ クラスター別会合(全体会議とパラレルセッション)	○ セミナー、シンポジウム等 ○ 防災展示会 ○ ポスター展示
主催者 (オーガナイザー)	○ ISDR事務局 ○ ビューロー(エクアドル、イラン、ドイツ、モロッコ、ロシア+ホスト国日本)	○ 円卓討論会:ISDR事務局 ○ クラスター別全体会議:国連加盟国、国連機関 ○ パラレルセッション:政府間会合の参加資格を有する団体(申請に基づき会議事務局が採否を決定)	○ 防災活動に携わる団体であれば政府間会合参加資格を有する団体に限定されない(申請に基づき会議事務局が採否を決定)
参加資格	○ 国連加盟国、国連機関、国際機関、認証NGOに限定	○ 同左	○ 原則一般公開
テーマ	○ 横浜戦略レビュー ○ 新しい国際防災戦略目標等	○ 左との関連性を明確にした上で、5つ程度のテーマを設定 ○ パラレルセッションのテーマはクラスターテーマと密接に関連	○ 防災に関するテーマを自由に設定(申請に基づき会議事務局が採否を決定)
成果	宣言 プログラム文書 パートナーシップ テーマ別会合の成果をテークノート	○ クラスターごとに成果をとりまとめ、政府間会合に報告	○ 世界会議のひとつのセグメントに位置付けられるが、政府間会合への直接のフィードバックは求められない
会場	○ ポートピアホテル	○ ポートピアホテル	○ セミナー:神戸国際会議場他 ○ 防災展示会:神戸国際展示場



国連防災世界会議パブリックフォーラムへの参画について
(災害教訓専門調査会)

一般国民を対象とした国連防災世界会議パブリックフォーラムへ、シンポジウムの開催、展示ブースの設置を申請をしている。今後、主催者である国連や、関連事業の場所のセットアップを担う国連防災世界会議推進協力委員会と調整を行ない、10月下旬に参加に関する最終決定がなされる見込み。

シンポジウム

日時：平成17年1月18日から22日のうちの午前か午後の半日

場所：神戸国際会議場他

聴衆：100～300名程度、個々のシンポジウム主催者が募集

ブース展示

日時：平成17年1月18日から22日の5日間

場所：神戸国際展示場

ブース：1ブース(9パネル)

パネル 幅900mm
高さ1,200mm
仕様・・・

